

教諭を目指す大学生が箕面の森を探検！ ～大学との連携に期待～

11月5日(土)、大阪青山大学健康科学部子ども教育学科の学生38名が、箕面国有林「エキスポ'90みのお記念の森」で、箕面森林ふれあい推進センターが開発中の森林環境教育プログラム「森の探検隊」を体験しました。同プログラムは、主に子ども達が、森林内のあちこちにあらかじめ設置された「指令書」の設問を解いていくことで、楽しみながら森の不思議等を学べるよう工夫されたプログラムです。大阪森林インストラクター会と連携し、案内・助言役として同会員8名が大学生と一緒に森を歩きました。

同大学の子ども教育学科では、教諭を目指す学生が教育の現場等で役立つ知識を培う学習がされており、大学と当センターが連携・協力し、プログラムのさらなる充実のための実践・検証を行う目的で行いました。学生達は既にあるプログラムの体験をとおして、教諭目線で良かったところ、改善点、どのように改善するか等について検証し、発表してくれました。大学からは指導者としての取組の意識を持つことに効果があったと評価されました。センターでは、大学との連携により、同プログラムのさらなる充実とともに、森林環境教育の推進・普及に期待しているところです。



手のひらの「水源の森」に挑戦！ ～山とみどりのフェスティバル！に出展～



箕面の森の自然環境保全などの活動を行っている30の市民団体が、10月30日（日）、大阪府箕面市の箕面公園瀧安寺前広場に集まり、紅葉狩りやハイキングに訪れた多くの皆さんが、自然素材を使った工作や体験を楽しみました。当センターでは、きんきちゅうごく森林づくりの会のスタッフ3名の応援を得て、オオクワガタの棲める森づくりで実践している里山再生の紹介パネル、水源の森ジオラマづくりワークショップで出展し、63名の皆さんに手のひらの森づくりを楽しんでもらいました。参加者から「身近な材料で素敵なミニチュアを作り、自然や造形にもなじみができ、それでいて自然を大切にすることにも触れられた」という声をいただきました。



森の仕事を紹介！ ～YMCA学院へ出前授業～



12月5日（月）、大阪市のYMCA学院高等学校で3年生17名を対象に出前授業をしました。当センターが取り組んでいる里山再生や有害鳥獣被害対策などについて、学校の要望を受け、職業として携わっている視点で話をしました。都会の学生は、普段の生活でなじみが少ない森林の仕事に興味津々でした。

